

若手職員による自主研究「めぐろ2040」 グループC意見書(暫定版)

令和2年2月17日

目黒区長期計画審議会 報告用資料

目次

(1) 課題

(2) 目指す将来像 ～重点的に目指したい7つの将来像～

(3) 10年間で取り組むべきこと ～重要な3つの視点～

(1) 課題

20年後を見据えた目黒区の課題

①地域のつながりの希薄化

▶核家族化や個々人の価値観の多様化など、家族外の人間関係の希薄化により地域活動が衰退していく。

②福祉サービスの担い手不足

▶高齢化により福祉サービスの需要が増えていく中、目黒区の生産年齢人口は2030年をピークに減少局面となるため、20年後は十分な福祉サービスを受けられなくなる。

③財政の硬直化

▶急速な高齢化により社会保障費が年々増加するため、将来にわたり安定した社会保障制度の持続が困難になる。

(2) 目指す将来像

～重点的に目指したい**7つ**の将来像～

目指す将来像

～重点的に目指したい**7つ**の将来像～

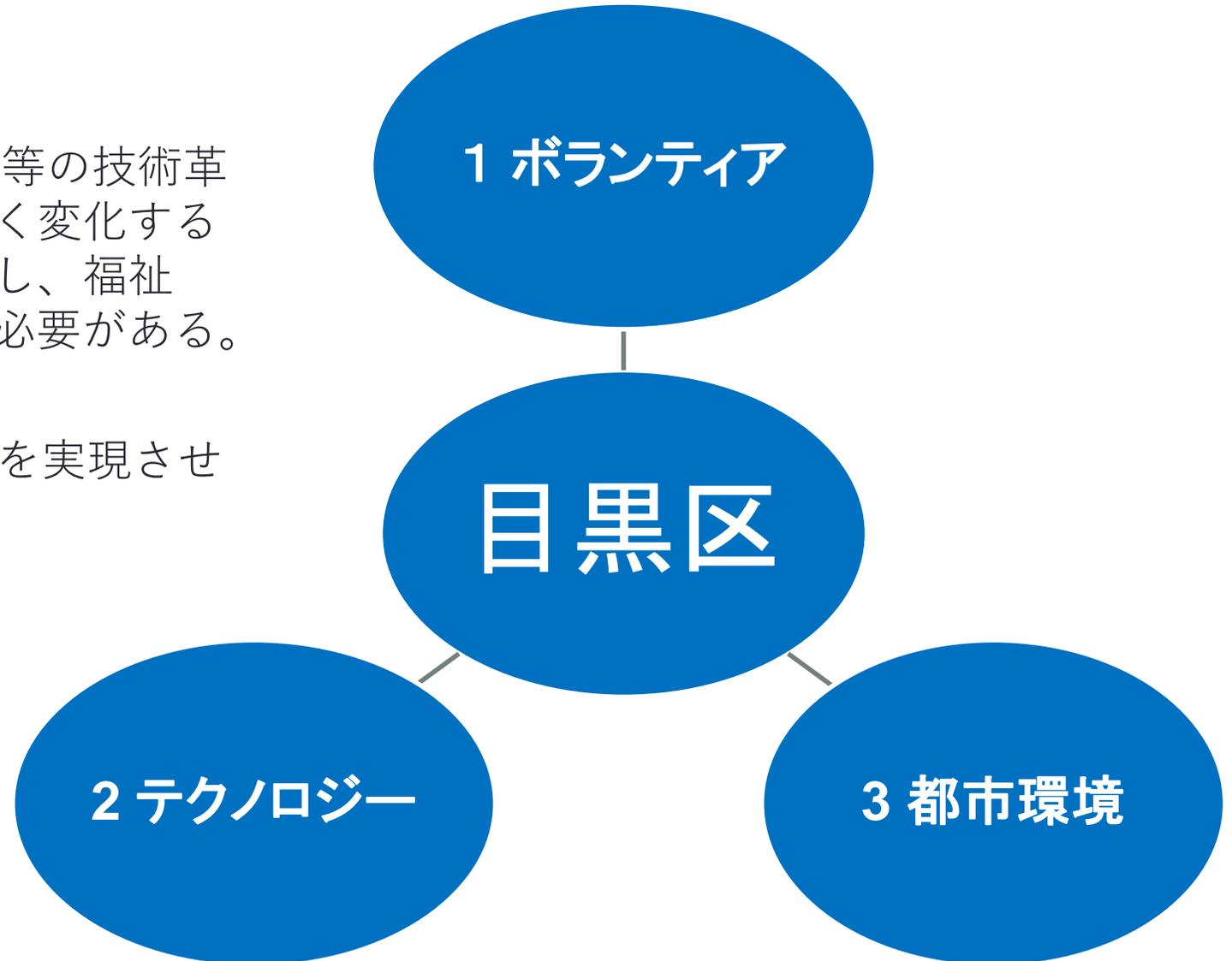
- 1 『いつまでも元気でいられる、活力あふれるまち』
- 2 『社会や地域との繋がりを感じ、生きがいを持って暮らせるまち』
- 3 『一人ひとりの生き方が尊重され、誰もが自分らしく生きられるまち』
- 4 『安心して暮らせる災害に強いまち』
- 5 『共に助け合い、豊かな心を育むまち』
- 6 『誰もが役割を持ち、互いに助け合えるまち』
- 7 『区民と共に創る、安全安心を持続でき、「らしさ」があふれるまち』

(3) 10年間で取り組むべきこと～重要な3つの視点～

持続可能な目黒区となるためには...

2040年には少子高齢化や情報通信技術等の技術革新、気象変動等により地域社会が大きく変化することが予想されるため、官・民が協働し、福祉サービスを持続可能なものにしていく必要がある。

20年後の目黒区を目指す7つの将来像を実現させるため **3つ**の視点から検討する。



1 ボランティア

ボラン
ティア

つながり : 地域のつながりを醸成するため、高齢者や子どもたちなど様々な世代が交流できる環境をつくる。

スキル : 地域人材を活用するため、学校や企業と連携スキルを持った人たちの活躍の場をつくる。

やる気 : 地域参加を促進させるため、やる気を引き出す。

ボランティア×つながり

お手伝いの活性化

- ・ 高齢者施設の近くにある児童館では、高齢者と交流できる環境をつくり、子どもたちのお手伝いに対してポイントを進呈。お菓子などと交換できるようにする。

おやじ会の発足

- ・ 学校の父母会などを通じ、子育て中の男性を対象としたサロンを作り、育児や時短勤務などの情報交換や悩み共有の場を提供する。「子育て術や料理教室など」

ボランティア① × スキル

区内の学校とのボランティア連携

- 機械科に通う高校生に施設の車いすや、児童館のおもちゃを修理してもらうなど、学生のスキルを地域課題の解決に活かしてもらう。学校と地域との交流活性化や、勉強のモチベーションアップにもつなげていく。

ボランティア表彰制度

- ボランティア活動を積極的に行う人を「ボランティア人」として目黒区が認定。進学や就職活動でアピールできる公的な証明として活用できるようにする。学校と連携した地域課題の解決でボランティアのきっかけを作り、表彰制度で継続的な活動につなげていく。

ボランティア② × スキル

区内メンター制度

- ・ 高齢者の経験やスキルを活かして、登録制の区内メンター制度を導入。若者の就活の悩みや、結婚の悩みなど、なんでも相談できる相手として活躍してもらおう。高齢者の役割づくりと、地域への参加にもつなげていく。

企業へのボランティア促進

- ・ 区内企業と市民活動団体の橋渡しをし、地域課題を解決する協同事業を後押しする。協同事業の設定に当たっては、企業へもイメージアップなどの好影響のある内容とし、企業の理解も得ていく。企業と市民活動団体がともに地域課題を解決することで、企業の地域社会への参加へつなげていく。

ボランティア① × やる気

ボランティアクーポン

- ・ 区民を対象に、参加したボランティア活動の内容・回数に応じて、美術館や体育館などの区内の施設を割引料金で利用できる制度を導入。

区内施設の優先予約権

- ・ スポーツのサークル活動をしている団体が、区内の運動施設である体育館やテニスコート、フットサルコートなどで特技ボランティアとして競技の指導をすると、その実績に応じて施設の優先予約権を取得できる制度を導入し、団体でのボランティア活動への参加を促す機会をつくる。

ボランティア② × やる気

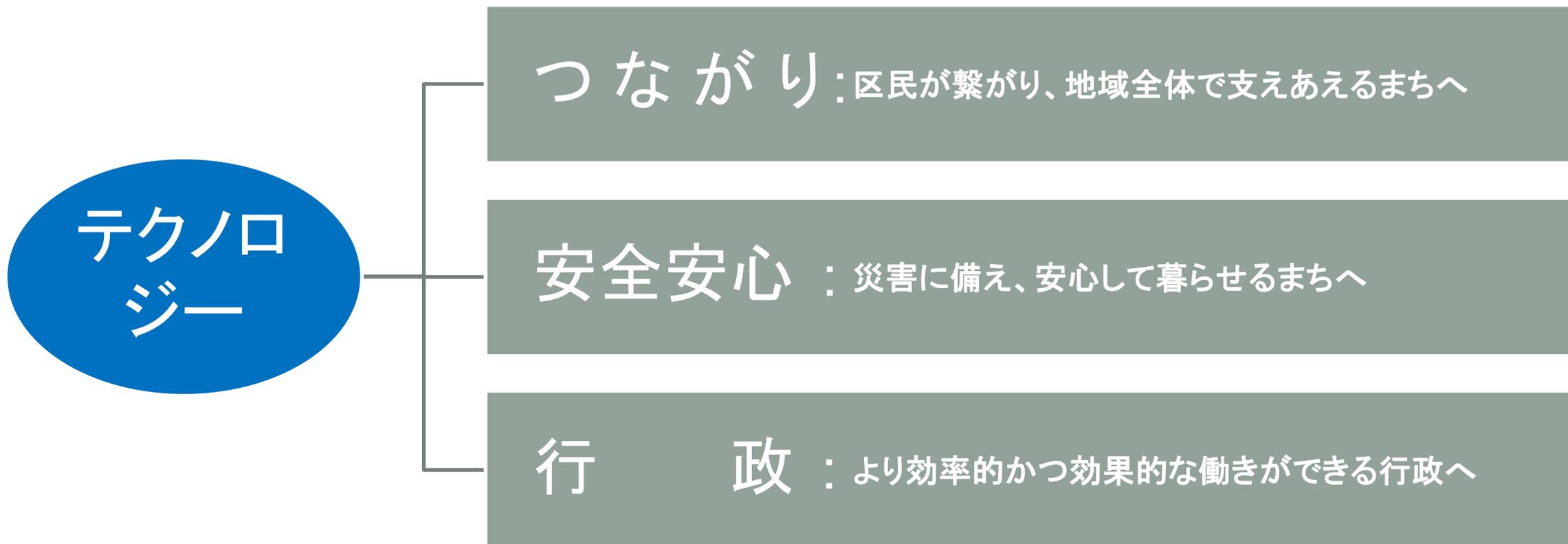
シニアボランティアポイント制度

- ・ 高齢者を対象に、介護施設・子育て施設などでボランティアをするとポイントが付与され、介護保険料の軽減資金に利用できる制度を導入。

ボランティア旅行

- ・ 区内で1日数時間ボランティアをしてもらう代わりに区が旅費を一部助成（食事や宿泊施設の割引など）。ボランティアに来てもらうことで、区内観光の活性化にもつなげられる。

2 テクノロジー



テクノロジー① × つながり

区民をつなげるマッチングシステム

- 高齢者 × 若者 ⇒ お手伝い
- 子育て世代 × 子育て先輩世代 ⇒ 家事代行、ベビーシッター 等

高齢者向けeスポーツ

- 多様な世代とのコミュニケーションを図る
- 楽しみながら、認知・身体機能を維持・向上する

テクノロジー② × つながり

ビデオ通話による遠隔授業、相談

- 目黒にいながら、世界中にいる同世代の子供たちや外国人の講師とビデオ通話を用いて交流することができる
- 外出が難しい人でも、SkypeやLINEのビデオ通話を用いることで、家中にいても外と繋がりをもつことができる

地域通貨等の導入

- 行政サービスにかかるボランティアへの謝礼を地域通貨等にするすることで産業振興につなげる

テクノロジー×安心安全

安心安全な暮らし

- BLEビーコン等を利用した子どもの見守り
- ベビーカーや車いすでも通りやすい道のルート表示
- VRで避難訓練

非常時の対応

- 避難所運営でのAIの活用
- ドローン活用による被害状況の把握等

テクノロジー① × 行政

情報発信

- 広報媒体の多様化（LINE、Vtuber等）
- 区報、HP等の付加価値UP（AR動画の配信等）
- 各行政分野別アプリ（母子手帳の電子化、健康アプリ、防災アプリ）

行政手続き

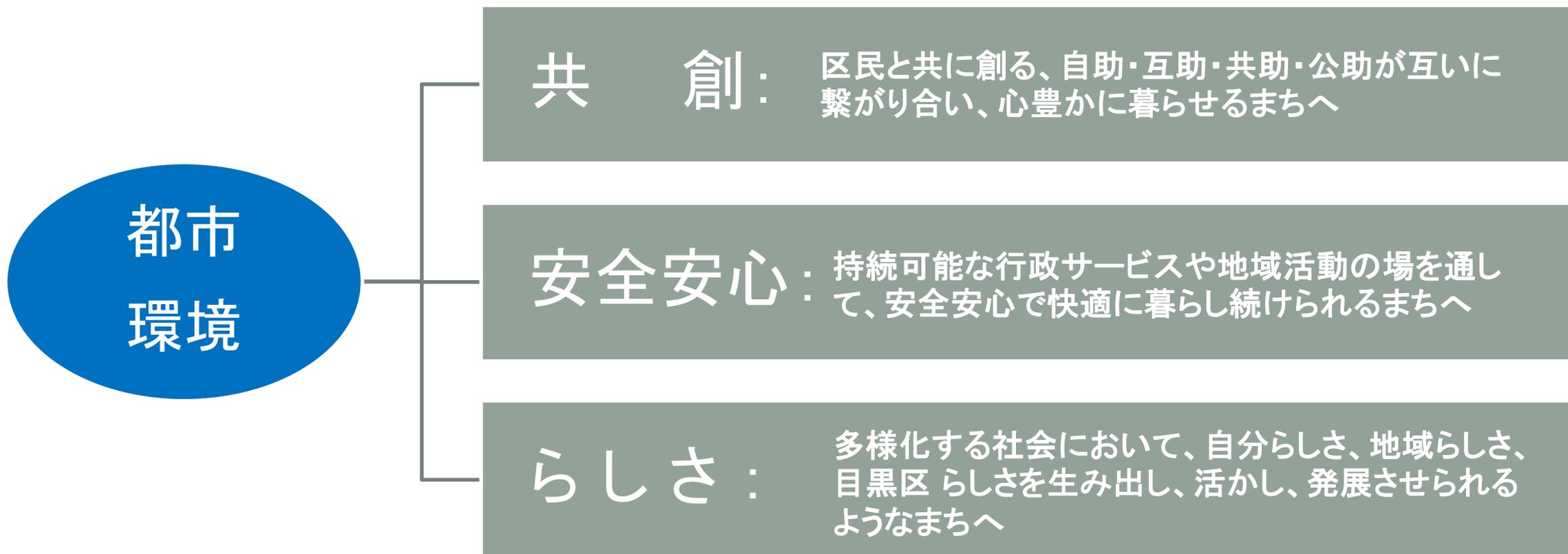
- キャッシュレス決済の導入
- 電子申請の普及、機能更新
- リアルタイム窓口予想
- 引っ越しワンストップサービス

テクノロジー② × 行政

組織

- 事業効果のみえる化
- 業務効率化ツールの更なる導入
- 行政データの利活用
- チャット機能等が利用できるイントラ機能
- 人材登用サイトの構築
- デザイン専門職の配置
- 非常時等におけるリモートワークの導入

3 都市環境



都市環境 × 共創

開かれたコミュニティ

- 駅前広報：駅周囲の情報発信機能充実化
- リアルタイムイベントマップ：コミュニティ活動を地図に視覚化
- マイまち情報：自分たちの視点からまちを見る交流

維持できるコミュニティ

- デジタル会議室：オンラインによる会議
- コミュニティ納税：区民の要望を区民が行う

都市環境 × 共創②

広域目黒

- 近隣区との協力体制

自由な交通

- あいのりサービス（手動運転）：移動手段の共有
- あいのりサービス（自動運転）：交通の効率化

都市環境 × 安全安心

災害に強いまち(ハード)

- 木密地域の耐震・不燃化、電柱の地中化
- ドローンの活用
- 「防犯・防災ポール」の設置

自助・共助のまち(ソフト)

- 空き家を活用したコミュニティスペース
- 地域コミュニティを活性化する取り組み
- 個人への防災、減災の意識付け（広報、VRを活用した被害想定）

都市環境×らしさ

自分らしさ

タクシーと連携した月額定額サービス事業
～好きな時間に好きなだけきなだけ

高齢者・障害があるかた・子育て世帯のかたが、自分の好きな時間に交流や活動ができ、健康増進や子育てが積極的にできる

都市環境×らしさ

地域らしさ

稼働率の低い住区会議室等の貸し出し ～地域に特色ある空間を

稼働率の低い会議室がある施設などを民間の活力を生かして施設運営を行う。内装やイベント、利用料を自由に設定。地域の特色や時代の流れを反映させた空間活用へ

都市環境×らしさ

目黒らしさ

ブロック塀の生け垣化をアーティスト等と行う ～Meguroアートストリート

幹線道路・大通り・商業地域などの植え込みや花壇を町の中のアートスペースとして整備するとともに、生け垣による防災・防火対策も兼ねる。街中にアート作品があり、目黒散策が楽しくなるようなきっかけとなる